

2026年7月15日

ユーザー各位

株式会社PR TIMES
執行役員 兼 第一営業部長
小暮 桃子

<詳報>PR TIMESへの接続障害に関するお詫びとご報告

平素よりPR TIMESをご利用いただきまして、誠にありがとうございます。

2026年7月14日(火)にお知らせいたしましたPR TIMESへの接続障害につきまして、調査の結果、PR TIMESの一部機能に対して、複数の接続元から通常の利用を大きく上回るアクセスが発生し、システム負荷が急増したことが原因であると判明いたしました。本障害は同日20時45分に発生、21時28分に復旧しており、現在はサイトおよび管理画面を通常通りご利用いただけます。なお、障害発生中もプレスリリースの配信処理自体への影響は確認されておらず、プレスリリースの配信は正常に実施されております。

本障害の直接的な契機は一部機能への負荷増大でしたが、アクセス集中を想定した制御および高負荷処理に対する対策が十分でなかったことを重く受け止めております。

ユーザーの皆様ならびに関係者の皆様へ、多大なるご迷惑とご不便をおかけしましたことを、深くお詫び申し上げます。本件の概要、経緯、原因、対応および再発防止策について、下記の通りご報告申し上げます。

<第一報>PR TIMESへの接続障害に関するお詫びとご報告

https://prtimes.jp/common/file/20260714_ACCESSincident.pdf

記

1 概要

発生期間:2026年7月14日(火)20時45分頃～21時28分頃

確認した事象:

- ・PR TIMESサイト(<https://prtimes.jp/>)の表示に時間がかかる、またはアクセスエラーとなる
- ・PR TIMES企業向け管理画面およびメディアユーザー向け管理画面へのログイン・操作に時間がかかる、またはアクセスエラーとなる
- ・管理画面内の操作に時間がかかる、または処理が完了しない

影響範囲:上記時間帯にPR TIMESを利用したユーザー

なお、プレスリリースの配信処理自体への影響は確認されておらず、プレスリリースの配信は正常に実施されております。

2 経緯

≫2026年7月14日(火)

20:45 PR TIMESサイトおよび管理画面への接続障害が発生

20:49 システム監視のアラートを検知
20:51 影響範囲と原因の調査を開始
20:56 データベースに異常がないことを確認し、Webサーバーの負荷が高い状態であることを確認
21:24 サーバーの再起動を開始
21:27 システム監視のアラートが正常状態に復帰
21:28 サイトおよび管理画面の復旧を確認
21:29 アクセスログの調査により、PR TIMESの一部機能に対して複数の接続元から大量アクセスが発生していたことを確認
21:58 サーバー全台の再起動を完了
22:13 当該機能に日本国外の一部地域からのアクセスを制限する処理を追加

≫2026年7月15日(水)

16:32 障害の原因となった一部機能に対し、接続元の国コードに基づくRate Limit(アクセス量を制御する仕組み)の実装を完了
16:35 日本国外の一部地域からのアクセス制限を解除

3 原因

一部機能への大量リクエストに対するアクセス制御が十分でなかったため、サーバーリソースがひっ迫し、PR TIMESサイトおよび管理画面全体の表示・操作に影響が及びました。
また、アクセス集中時にサービス全体への影響を抑制する設計・負荷分散が十分ではなかったことから、一部機能への負荷がサービス全体へ波及したことが、障害の根本的な要因です。

4 対応

障害発生後、影響を受けていたサーバーの再起動を行い、サービスの回復を確認しました。
また、通常とは異なるアクセスが国外を含む複数の地域から発生していることが判明したため、負荷を抑えるための応急措置として、当該機能に対する日本国外の一部地域からのアクセスを、原因調査と並行して一時的に制限しました。
本日、当該機能にRate Limitを導入する実装が完了したことで制限を解除しています。

5 再発防止策

・大量アクセスに対するRate Limitの導入(2026年7月15日完了)

大量アクセスの影響を受けた一部機能に対し、接続元の国コードに基づいてアクセス量を制御する仕組み(Rate Limit)を追加しました。これにより、短時間に通常利用における想定を上回る多くのリクエストが発生した場合に、サービス全体へ負荷が波及する前にアクセスを制限します。

・高負荷処理の見直し・負荷軽減(2026年7月24日対応完了予定)

アクセス集中時に高負荷となる処理について、アクセス集中時にもサーバー負荷が増大しにくい方式への見直しを進めます。これにより、同様のアクセスが発生した場合にも、PR TIMESサイトおよび管理画面全体へ影響が及ばない構成を整えます。

ユーザーの皆様ならびに関係者の皆様に、多大なるご迷惑とご不便をおかけしましたことを、改めて深くお詫び申し上げます。

今回の障害を踏まえ、アクセス集中の手法やシステムを取り巻く環境の変化にも対応できるよう、継続的に対策の見直しと改善を進めてまいります。上記の再発防止策を着実に実施し、安定したサービスの提供と信頼の回復に努めてまいります。

今後ともPR TIMESをご愛顧いただけますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

PR TIMES：<https://prtimes.jp/>

以上